

一般社団法人

日本テレマン協会

2024年度活動報告書

バッハからベートーヴェンまで
日本テレマン協会
since 1963



Telemann Institute Japan

CONTENTS

4 TOPICS

5 About Us

- 5 日本テレマン協会について・テレマンとは
- 6 延原武春
- 7 テレマン室内オーケストラ・テレマン室内合唱団

8 公演記録

- 8 定期演奏会
- 11 マンスリーコンサート
- 13 教会音楽シリーズ・特別公演

14 依頼公演

15 社会的活動

16 年表

18 日本テレマン協会後援会

- 18 役員名簿・年表
- 19 法人会員・個人会員

20 日本テレマン協会ディスコグラフィ



2024年5月7日 定期演奏会特別公演 公演風景



4月1日 安井建築設計事務所100周年記念コンサート 公演風景



4月12日 ガスビル食堂「ランチタイム・バロックスペシャル」 公演風景



4月26日 ホテルモントレ・スール「ランチ・コンサート」 公演風景



4月27日 浅井咲乃 Violin Recital in 綿業会館大ホール 公演風景



5月22日 レコーディング風景



2025年2月7日 アバンザ・ランチタイム・コンサート 公演風景



9月11日 大阪クラシック 公演風景



2025年2月14日 第548回マンスリーコンサート 公演風景



12月21日 第九deクリスマス リハーサル風景



2025年2月26日 ヴィヴァルディとヴェネツィアの響き 公演風景



2025年3月6日 兵庫県立芸術文化センター 公演風景



2025年3月30日 春のテレマン名曲コンサート「桜花爛漫」 公演風景

TOPICS

音楽監督・延原武春が地域文化功労者表彰を受賞

地域文化の振興に功績があった個人や団体を表彰する地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）に音楽監督・延原武春が選ばれました。表彰理由は以下の通りです。

【表彰理由】

○ドイツ人作曲家であるテレマンの名を冠した「テレマン・アンサンブル」を結成し「日本テレマン協会」に発展させる。同協会の代表として、日本の洋楽界にバ

ロック音楽や室内楽を定着させた。
○兵庫県内では、学校公演や、阪神淡路大震災時の避難所コンサートの開催など幅広い活動を行い、音楽の振興に貢献した。



日本テレマン協会が令和7年度「憲法記念日知事表彰」を受賞

日本テレマン協会が令和7年度「憲法記念日知事表彰」を受賞しました。

憲法記念日知事表彰は、大阪府が5月3日の憲法記念日に合わせ、府政の振興に顕著な功績のあった個人若しくは団体又は、篤行が特に優れ、府民の模範となる個人を善行者、産業功労者、公共関係功労者として知事から表彰するものです。

日本テレマン協会は多年文化芸術の向上に貢献した功績を認められ、受賞しました。

2025年5月7日にグランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）で実施された表彰式には当協会をを代表してソロ・コンサートマスター浅井咲乃と首席チェロ奏者鷺見敏が参加しました。



About Us

日本テレマン協会について

日本テレマン協会は1963年、当時音楽大学の学生であった延原武春（現音楽監督・CEO）が、作曲家テレマンの作品と音楽に対する理念に感銘を受け創設した、18世紀の音楽を専門とする演奏団体です。定期演奏会、マンスリーコンサート、教会音楽シリーズの3種類の主催公演を柱として、関西を拠点に60年以上活動し、これまでに文化庁芸術祭優秀賞やサントリー音楽賞などを受賞しました。2008年には協会創立45周年

を記念し、初演当時の楽器を使用したベートーヴェンの交響曲全曲公演を開催。このことが契機となり延原武春はドイツから功労勲章功労十字小授章を受賞しました。また、未来の文化の担い手を育てるため、学校などへの出張コンサートにも積極的に取り組んでいます。2023年には協会創立60周年事業第300回定期演奏会で1829年のメンデルスゾーンによるバツハ「マタイ受難曲」蘇演を再現。その功績が認められ、令和5年度大阪文化祭賞を受賞しました。

音楽監督・CEO：延原武春

副代表：奥田博子

ヨーロッパ総局長：高野昭夫

古典鍵盤楽器奏者：高田泰治

ソロ・コンサートマスター：浅井咲乃

首席客演コンサートマスター：ウッラ・ブンディース

エグゼクティブ・アドバイザー：和田誠一郎（弁護士）・永重史郎

オフィス・アドバイザー：奥田忠道

アドバイザー：辻 一郎（元毎日放送取締役）

和田省一（朝日放送音楽振興会理事長）

笠谷和比古（国際日本文化研究センター名誉教授）

上山信一（慶應大学教授 / 大阪府市特別顧問 / 愛知県政策顧問）

園崎明夫（元毎日新聞執行役員 大阪本社副代表）

梅本史郎（株式会社MBSメディアホールディングス顧問）

事務局：今井 良（事務局長）・中田吉美・野村茉莉

後藤田裕仁子・伊豆田佑香・中村沙耶



テレマンとは

ゲオルク・フィリップ・テレマン（1681年3月14日～1767年6月25日）は後期バロック音楽のドイツ人作曲家。バツハ、ヘンデルも足元に及ばない高い評価を受けていた作曲家で、大変な多作家としても有名です。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集。延原武春はテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲している」という言葉に感銘を受け、その名前をかかげた楽団を結成しました。

テレマンは大変面倒見の良い人でもあったそうで、バツハの次男の名付け親

でもあり、また自身が音楽監督を務めていたハンブルクで臨終の時を迎える際、後継者にその「次男」カール・フィリップ・エマニュエルを指名したという逸話も残っています。またヘンデルとの親交は深く、ヘンデルはロンドンから様々な珍しい植物をテレマン宛に送っていたそうです。さらに、テレマンが「食卓の音楽」を出版する際、予約者の最初の方にヘンデルの名が入っていたことも有名な話です。

1963年日本テレマン協会の前身である“テレマン・アンサンブル”を結成。以来50年余の歳月を経てその業績は目覚ましく、日本におけるバロック音楽の探究と普及という専門的領域のみならず、その広い視野と行動力によって、特に西日本の音楽文化の広範な普及に多大な貢献をもたらした後、近年では長年の古楽探究を礎とした音楽解釈とその熟練された手腕を持つ巨匠指揮者としての今後が多いに囑望されている。

指揮者としてライブツィヒ放送交響楽団やゲヴァントハウス・バッハ・オーケストラなどをはじめとする海外のオーケストラとの共演の機会が幾度もあったにも関わらず、その主眼はあくまでも自らが創設した日本テレマン協会での活動に注がれた。1970年代後半からその評価は関西を超えて全国的なものとなり、テレマン室内オーケストラ・テレマン室内合唱団との演奏は文化庁芸術祭・優秀賞やサントリー音楽賞を受賞するまでに高く評価されることとなり、さらにはライブツィヒで開催されたバッハ生誕300周年記念国際音楽祭に日本の団体としては唯一招かれる等、ドイツ各地やロンドン、パリ、ボルドー等にも招聘され、M. アンドレ、F. アーヨ、M. ラリュエ、J.P. ラ

ンバル、H.J. シェレンベルガー、P. ダム、A. ビルスマ、G. カーなどの名手との共演の他、J.E. ガーディナー、F. ブリュッヘン、C. ホグウッド、G. ボッセ等とも親しく交流することとなる。

延原武春の音楽的業績は、教会の聖堂を舞台としてテレマン作曲の『マタイ受難曲』やマテゾン、テレマン、ヘンデル、カイザーが競作した『ブロッケス受難曲』など本邦初演、ヘンデルの『メサイア』9種類の異版を1年に一版ごとに取り上げるなど枚挙に暇がないが、殊にユニークなのが1982年にベートーヴェンの第九交響曲を初演当時の編成と作曲者指定のテンポに従って演奏すること……これはその当時としては極めて斬新なアプローチであったため、ガーディナーやホグウッドといった古楽演奏家達が延原

の第九の録音を所望したというエピソードは大変興味深い。延原のベートーヴェンに対するアプローチはこれに留まるものではなく、2006年には第九交響曲をクラシカル楽器（古典派時代の楽器）で演奏。さらに2008年にはクラシカル楽器によるベートーヴェン：交響曲全曲・合唱幻想曲・ミサ・ソレムニス・ツィクルスを挙行。これが契機となり延原は『ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小授章』を授賞することとなった。

延原の活動の中心には常に日本テレマン協会が存在してきたことは言うまでもないことだが、その合間には海外楽団からの招聘や、岩城宏之音楽監督時代のオーケストラ・アンサンブル金沢や九州交響楽団などからバロックから古典のレパートリーのスペシャリストとして招か



れることもあった。2009年には久しぶりに大阪フィルに客演することとなり、2010年～12年には大阪フィルは延原とともにベートーヴェン：交響曲全曲シリーズを主催。『大阪フィルの次代を拓く』と言って過言ではない名演と『田園』がかくも力強く、生命力にみちた音で鳴り響いたことはなかったのではないかと（評：故小石忠男／日本経済新聞9月30日夕刊）等と絶賛を博するなど一際大きな話題となった。

また、同時期に日本フィル横浜定期演奏会にも客演。その際のブラームス：交響曲第1番（第2楽章は初稿）はEXTONレーベルからCD化された。2011年には延原の元に多くのプレイヤーが集う“一日だけのオーケストラ”としてOrchestra Japan 2011が結成され、マーラー：交響曲第4番を演奏。その演奏はライブノーツ・レーベルからリリースされ『レコード芸術』誌で特選盤に選ばれ、これらの成果が契機となってこのオーケストラは2012年にも再結集され、京都・大阪・神戸でやはりロマン派のレパートリーを取り上げている。

2017年に日本センチュリー交響楽団を指揮した「ベートーヴェン：交響曲第6番『田園』ほか」がCD化されてそ

の演奏は各方面から高く評価された。また、近年大阪市中央公会堂で開催している日本テレマン協会定期演奏会大阪公演では、会場の雰囲気から「中之島をウィーンに！」というキャッチコピーのもと公演を企画。バロックから古典派にかけての幅広い演目を取り上げる中、2020年から継続的に取り上げているモーツァルトの後期交響曲群は、その澁澁とした解釈や均整の取れた緊張と緩和のバランス感覚などから高い評価を得ている。さらに、サリエリやストリナザッキといった、これまで歴史に埋もれていた作曲家の作品にもスポットを当てることで18世紀音楽のレパートリーの深化と拡充に成功している。

2019年には日本テレマン協会創設当時から演奏会プロデュース活動による

クラシック音楽普及に対する功績が認められ、ベストプロデュース賞を受賞。2020年、新型コロナウイルス感染拡大に伴った公演規模の縮小を逆手に取り、ベートーヴェンが貴族の邸宅で行っていた交響曲の試演会を再現した形で公演を実施し好評を博す。2021年には自身のオーボエ生活60周年を記念して大阪と東京でリサイタルを開催し話題となる。2023年には日本テレマン協会創立60周年事業第300回定期演奏会で1829年のメンデルスゾーンによるバッハ「マタイ受難曲」蘇演を再現。その功績が認められ、令和5年度大阪文化祭賞を受賞。2024年、令和6年度地域文化功労者表彰を受ける。



1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。サントリー音楽賞を受賞した日本初のプロオーケストラでもある。そのほかの主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」（関西初）等。

1990年バロック・ヴァイオリン奏者のサイモン・スタンデイズをミュージック・アドバイザーとし、バロック楽器（18世紀当時の楽器およびそのレプリカ）による演奏を始める。2003年にはドイツのバッハ・アルヒーフから招聘を

受け「バッハ・フェスティバル」に出演し、C.P.E. バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。

2006年からはクラシカル楽器（古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ）による演奏を始め、2007年には同楽器によるF.J. ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。

「マンスリーコンサート」（会場は大阪倶楽部4階ホール）を舞台に「聴衆とともにつくる価値」の創造に力を入れ、そこをベースに様々な奏者を輩出している。チェンバロおよびフォルテピアノの高田泰治、ヴァイオリンの浅井咲乃など

はその代表的な存在として注目を集めている。

2012年にはドイツよりバロック・ヴァイオリン奏者ウッラ・ブンディース氏を首席客演コンサートマスターとして迎えた。

2018年、第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。

2023年には協会創立60周年事業第300回定期演奏会で1829年のメンデルスゾーンによるバッハ「マタイ受難曲」蘇演を再現。その功績が認められ、令和5年度大阪文化祭賞を受賞。2025年には令和7年度「憲法記念日知事表彰」受賞。

テレマン室内合唱団 Telemann Chamber Chorus

1969年に延原武春が創設した合唱団。主にテレマン室内オーケストラとともに演奏活動を行っており、1985年には「J.S. バッハ生誕300年記念国際音楽祭」に、日本から唯一招待され参加し現地新聞等やその外電も含め当時大きな評判となる。ホームグラウンドとも言うべきカトリック夙川教会に於ける「教会音楽シリーズ」は、最も大きな活躍の場となっている。これまでに、ヘンデルの10種類の違ったバージョンを年一回のサイクルで連続的に公演した「メサイア10年連続公演シリーズ」、「ヘンデル本邦初演オラトリオシリーズ」、幻のテレマン作受難曲集の公演「テレマンプロジェクト」、また「延原武春の受難曲シリーズ」を開催するなど、数多くの挑戦的な試みに取り組み、多くの注目と称賛の声を集めている。

特に、大阪のザ・シンフォニーホールにて1983年にスタートした「100人の第九」と題された公演にはテレマン室内オーケストラと共に出演し、現在でも連続的に継続しており、人気シリーズとし

て関西のクラシック音楽の名物公演になっている。

創立50周年を機に、中村朋子氏がディレクターに就任した。



公演記録

【計画時】

主催公演 22公演
定期演奏会 11公演
マンスリーコンサート 8公演
教会音楽シリーズ 3公演

依頼公演 60公演
合計 82公演

【報告時】

主催公演 22公演
定期演奏会 11公演
マンスリーコンサート 8公演
教会音楽シリーズ 2公演
特別公演 1公演

依頼公演 72公演
合計 94公演

定期演奏会 Subscription Concert

日本テレマン協会第305回定期演奏会

テレマンの街ハンブルクから中之島をウィーンに！
ハンブルク大阪友好都市提携35周年記念企画

日時 2024年4月10日 18:00
会場 大阪市中央公会堂 3階中集會室
曲目 G.Ph. テレマン：トランペット協奏曲 ニ長調
序曲組曲 ト長調 "La Bizarre"
J.S. バッハ：管弦楽組曲 第1番
C.P.E. バッハ：ヴァイオリン・ソナタ ロ短調
シンフォニア 変ロ長調 Wq.182-2
出演 指揮：延原武春 ヴァイオリン：U. ブンディース
コレギウム・ムジクム・テレマン
来場者数 352名
備考 大阪市とハンブルク市の友好都市提携35周年を記念し、ハンブルクで活躍したテレマン、テレマンと友好関係にあったJ.S. バッハ、J.S. バッハの次男でテレマンの後任としてハンブルクで活躍したC.P.E. バッハの作品を演奏しました。ドイツより首席客演コンサートマスターのU. ブンディース氏を招いての公演。

日本テレマン協会第306回定期演奏会

A. ヴィヴァルディ「調和の靈感」全曲公演

日時 2024年4月14日 14:00
会場 東京文化会館小ホール
曲目 A. ヴィヴァルディ：「調和の靈感」op.3
第1番RV 549, 第2番RV 578, 第3番RV 310, 第4番RV 550
第5番RV 519, 第6番RV 356, 第7番RV 567, 第8番RV 522
第9番RV 230, 第10番RV 580, 第11番RV 565, 第12番RV 265
出演 指揮：延原武春
ヴァイオリン：U. ブンディース・浅井咲乃
三谷彩佳・田畑佳子
チェロ：鷺見 敏
コレギウム・ムジクム・テレマン
来場者数 387名
備考 ドイツより首席客演コンサートマスターのU. ブンディース氏を招いての公演。A. ヴィヴァルディの「調和の靈感」全曲を取り上げました。有名な作品ではありませんが、全曲を一度に、しかもバロック楽器を使用した演奏で聴く機会は珍しく、非常に貴重な機会となりました。

日本テレマン協会 定期演奏会特別公演
テレマンの街ハンブルクから 中之島をウィーンに！
ベートーヴェン「第九」初演200周年記念
1824年5月7日
「第九」初演再現公演
Subscription Concert in Osaka
Beethoven's 9th Symphony, Choral, 200th Anniversary
PROGRAM
L.V. ベートーヴェン：「献堂式」序曲、ミサ・ソレムニスより
交響曲第9番 op.125「合唱付き」
PERFORMANCE
指揮：延原武春 合唱：中村朋子・渡邊由美子・奥田見紀・藤部信宏
テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ Classic
2024 5.7 tue. 大阪中央公会堂
18:00 OPEN 17:00 3階中集會室
料金：【自由席】一般定5,000円/全席4,000円/毎日6,000円/25歳以下1,000円
※チケットの半分は当日の現金払いでも購入できます。当日は現金のみです。
チケットは【Pコード】26993(137券)
主催：大阪府会・日本テレマン協会 TEL:06-6345-1046 (9:10~18:00)

日本テレマン協会定期演奏会特別公演 テレマンの街ハンブルクから中之島をウィーンに！ 「第九」初演再現公演	
日時	2024年5月7日（火）18:00
会場	大阪市中央公会堂中集会室
曲目	L.v. ベートーヴェン： 「献堂式」序曲 op.124 ミサ・ソレムニスより 交響曲第9番 op.125「合唱付き」
出演	指揮：延原武春 ソプラノ：中村朋子 アルト：渡邊由美子 テノール：鹿岡晃紀 バス：篠部信宏 テレマン室内オーケストラ Classic テレマン室内合唱団
来場者数 備考	420名 1824年5月7日のベートーヴェン「第九」初演からちょうど200年の2024年5月7日に、初演の演目を再現した公演として実施しました。「特別な日」の公演ということで、会場は満員となりました。



日本テレマン協会第308回定期演奏会 高田泰治リサイタル「バッハ一族の鍵盤音楽」	
日時	2024年7月28日 14:30
会場	東京文化会館小ホール
曲目	J.C. バッハ：ソナタ ニ長調 W.F. バッハ：ファンタジア 第6番 二短調 J.C.F. バッハ：ソナタ 第6番 変ホ長調 C.P.E. バッハ：ヴェルテンブルク・ソナタ 第1番 J.S. バッハ：パルティータ 第5番 ト長調
出演 来場者数 備考	チェンバロ：高田泰治 352名 J.S. バッハとその息子たちの鍵盤作品を取り上げました。大バッハの没年にバロック時代が終わりを迎えたと言われていますが、古典派の音楽が流行するまでの間の期間にバッハの息子たちが果たした重要な役割を実感出来るプログラムとなりました。



日本テレマン協会第307回定期演奏会 テレマンの街ハンブルクから中之島をウィーンに！ 延原武春プロデュース「ウィーン式歴史カル・コンサート」	
日時	2024年7月5日 18:00
会場	大阪市中央公会堂中集会室
曲目	W.A. モーツァルト： 交響曲第41番「ジュピター」 歌劇「フィガロの結婚」より「楽しい思い出はどこに」 歌劇「魔笛」（フルート四重奏版）より No.2, No.7 「リゾンは森で眠っていた」の主題による変奏曲
出演	J.C.F. バッハ：ヴィオラとフォルテピアノのための協奏曲 F.J. ハイドン：交響曲第9番 第1楽章 D. チマローザ：歌劇「女の手管」より「私は嬉しい、私は満足」
来場者数 備考	指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 ほか テレマン室内オーケストラ Classic 385名 最初に交響曲の第1楽章を演奏し、協奏曲や室内楽曲、オペラアリアなどを演奏した後に最初の交響曲の残りの楽章を演奏するという、実際に18世紀に実施されていたスタイルの公演。中間に演奏する曲の配列も、実際に18世紀に企画を作成する時と同様のルールで選択しました。

日本テレマン協会第309回定期演奏会 テレマンの街ハンブルクから中之島をウィーンに！ 「エステルハージー家の音楽家たち」	
日時	2024年10月11日 18:00
会場	大阪市中央公会堂中集会室
曲目	F.J. ハイドン：序曲 ニ長調 G.J. ヴェルナー：フーガ（ハイドンによる編曲版） W.A. モーツァルト：交響曲第36番（フンメルによる編曲版） F.J. ハイドン：ヴァイオリンとフォルテピアノのための協奏曲 F.J. ハイドン：交響曲第88番 ト長調「V字」
出演 来場者数 備考	指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ Classic 338名 ハイドンが仕えたエステルハージー家にスポットを当てた公演。ハイドンの前任ヴェルナーの作品と後任フンメルのモーツァルトの編曲作品を取り上げました。18世紀よりワインを生産していたエステルハージー家は現在でも生産を続けており、西天満のワインショップ Mature の協力でエステルハージー・ワインの試飲・販売も実施しました。

日本テレマン協会第 310 回定期演奏会
 バッハ「ブランデンブルク協奏曲」異版

日時 2024年11月3日 14:00
 会場 東京文化会館小ホール
 曲目 J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲異版
 第1番：シンフォニア へ長調 BWV1046a
 第2番：室内協奏曲 へ長調 BWV1047R
 第3番：コンチェルト - パステイッチョ
 第1楽章：カンタータ BWV174 シンフォニア
 第2楽章：ソナタ第6番 BWV1019 第2楽章 Largo
 第3楽章：ブランデンブルク協奏曲第3番 BWV1048 第3楽章 Allegro
 第4番：チェンバロ協奏曲第6番 へ長調 BWV1057
 第5番：初稿 BWV1050a
 第6番：初稿 BWV1051
 出演 指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治
 ヴァイオリン：浅井咲乃 ほか
 テレマン室内オーケストラ
 来場者数 520名
 備考 バッハの代表作であるブランデンブルク協奏曲の異版を取り上げました。第1番はシンフォニア BWV1046a、第2番はソロパートと通奏低音のみ、第3番の第1楽章はカンタータに流用された版、第4番はチェンバロ協奏曲版、第5番と第6番は初稿を使用し、有名な作品の違った側面にスポットを当てた貴重な公演となりました。



日本テレマン協会第 311 回定期演奏会
 テレマンの街ハンブルクから中之島をウィーンに！
 バッハ「ブランデンブルク協奏曲」異版

日時 2024年11月13日 18:00
 会場 大阪市中央公会堂中集会室
 曲目 J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲異版
 ※第310回と同様
 出演 指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治
 ヴァイオリン：浅井咲乃 ほか
 テレマン室内オーケストラ
 来場者数 343名
 備考 第310回定期演奏会と同様の公演。

日本テレマン協会第 312 回定期演奏会
 高田泰治リサイタル
 「J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲」

日時 2024年12月10日 18:30
 会場 東京文化会館小ホール
 曲目 J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲
 出演 チェンバロ：高田泰治
 来場者数 356名
 備考 毎年定番で開催している公演。年末に必ず「第九」が演奏されるように、レパートリーとしての定番化を目指しています。



日本テレマン協会第 313 回定期演奏会
 テレマンの街ハンブルクから中之島をウィーンに！
 「ロンドンのハイドン」

日時 2025年1月16日 18:00
 会場 大阪市中央公会堂中集会室
 曲目 J.C. バッハ：交響曲 変ホ長調
 I. プレイエル：協奏交響曲
 F.J. ハイドン：交響曲 第95番 ハ短調
 出演 指揮：延原武春
 ヴァイオリン：浅井咲乃 ヴィオラ：姜隆光
 テレマン室内オーケストラ Classic
 来場者数 333名
 備考 ハイドンがロンドン旅行に際して書いた交響曲を取り上げつつ、ロンドンで活躍し、ウィーン古典派の作曲家に大きな影響を与えた J.C. バッハの交響曲と、ハイドンの弟子であり、ロンドンではライバル関係にあったプレイエルの協奏交響曲を組み合わせました。



日本テレマン協会第 314 回定期演奏会

鷺見敏リサイタル

「J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲」

日 時	2025 年 1 月 26 日 13:30
会 場	東京文化会館小ホール
曲 目	J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲
出 演	チェロ / チェロ・ピッコロ：鷺見敏
来場者数	385 名
備 考	毎年定番で開催している公演。宗教曲の大家として名高いバッハの、器楽曲の魅力を普及させるための公演。通常のチェロで全曲を演奏することもありますが、本来は第 5 番においてはスコルダトゥーラと呼ばれる変則的な調弦が必要であり、第 6 番は 5 弦を有するチェロ・ピッコロを使用するように指定されています。本公演ではテレマン室内オーケストラ首席チェロ奏者鷺見敏が 2 台の楽器を使い分けつつ変則調弦にも取り組んでいます。



マンスリーコンサート Monthly Concert

日本テレマン協会 第 542 回マンスリーコンサート

浅井咲乃リサイタル「クライスラーの夕べ」

日 時	2024 年 8 月 8 日 18:00
会 場	大阪俱樂部 4 階ホール
曲 目	F. クライスラー： 中国の太鼓 「ウィーン古典舞曲集」より 「愛の喜び」, 「愛の悲しみ」 ウィーン風小行進曲 クレンとの別れ (ロンドンデリーの歌) ヴィヴァルディの様式による協奏曲 ハ長調 弦楽四重奏曲 イ短調 第 1 楽章 Fantasia N. リムスキー=コルサコフ (F. クライスラー編)： シェエラザード Op.35 - 東洋風舞曲 S. ラフマニノフ (F. クライスラー編)： 祈り (ピアノ協奏曲第 2 番 ハ短調 第 2 楽章) N. パガニーニ (F. クライスラー編)： ヴァイオリン協奏曲第 2 番第 3 楽章「ラ・カンパネラ」 F. クライスラー： シンコペーション プニャーニの様式による前奏曲とアレグロ
出 演	ヴァイオリン：浅井咲乃 ディレクター：延原武春 テレマン室内オーケストラ
来場者数	192 名
備 考	ソロ・コンサートマスター浅井咲乃のリサイタルでクライスラーばかりを取り上げたプログラム。人気の高い演目に加えてクライスラーが「昔の作曲家の楽譜を発見した」と偽って発表していた曲や他の作曲家の作品を編曲したものなど、珍しい曲を多く取り上げました。 2025 年 6 月にはこの公演のプログラムを下敷きに、新たな CD のレコーディングを行いました。



日本テレマン協会第 543 回マンスリーコンサート
村田佳生リサイタル「オール・テレマン・プログラム Vol.2」

日時	2024年9月25日 18:00
会場	大阪倶楽部 4階ホール
曲目	G.Ph. テレマン： 「音楽の練習帳」よりソナタ ハ長調 TWV41:C5 「6つの新しいソナチネ」よりソナチネハ短調 TWV41:c2 四重奏曲 ト短調 TWV43:g4 「音楽の練習帳」よりソナタ ニ短調 TWC41:d4 ソナタ ヘ短調 TWV41:f2 協奏曲 ヘ長調 TWV51:F1
出演	リコーダー：村田佳生 ディレクター：延原武春 コレギウム・ムジクム・テレマン
来場者数	235名
備考	協会所属のリコーダー奏者村田佳生によるリサイタル。2023年の公演に引き続き、テレマンの作品のみで構成されたリサイタルとなりました。



日本テレマン協会 第 544 回マンスリーコンサート
バッハ家とテレマン

日時	2024年10月31日 18:00
会場	大阪倶楽部 4階ホール
曲目	G.Ph. テレマン：管弦楽組曲 "La Putain" TWV55:Anh.G1 J.S. バッハ：三重協奏曲 イ短調 BWV1044 C.P.E. バッハ：四重奏曲 ト長調 H.539, Wq.95 J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲第5番 BWV1050a(初稿)
出演	指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃 フルート：森本英希 テレマン室内オーケストラ
来場者数	163名
備考	ブランデンブルク協奏曲第5番と似通った編成で演奏可能なものの演奏機会の少ない三重協奏曲やC.P.E. バッハの四重奏曲など、少しマニアックな演目の公演となりました。



日本テレマン協会 第 545 回マンスリーコンサート
バロック器楽名曲撰

日時	2024年11月20日 18:00
会場	大阪倶楽部 4階ホール
曲目	G.Ph. テレマン：序曲 嬰ヘ短調 TWV 55: fis1 W.F. バッハ：ファンタジア 第7番 Falck21 G.F. ヘンデル：合奏協奏曲 変ロ長調 op.6 no.7 A. コレリ：合奏協奏曲 op.6no.8 「クリスマス協奏曲」 J.S. バッハ：チェンバロ協奏曲 ヘ短調 BWV1056
出演	指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃・三谷彩佳 テレマン室内オーケストラ
来場者数	121名
備考	バッハ、ヘンデル、テレマンだけでなくバッハの長男のW.F. バッハやコレリの作品も取り混ぜ、ジャンルのにも協奏曲、合奏協奏曲、合奏曲、独奏曲と、様々な曲をお楽しみ頂ける公演となりました。

日本テレマン協会 第 546 回マンスリーコンサート
高田泰治リサイタル「J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲」

日時	2024年12月4日 18:00
会場	大阪倶楽部 4階ホール
曲目	J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲
出演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	143名
備考	毎年定番で開催している公演。年末に必ず「第九」が演奏されるように、ゴルトベルク変奏曲の定番化を目指しています。

日本テレマン協会 第 547 回マンスリーコンサート
鷺見敏リサイタル「J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲」

日時	2025年1月21日 18:00
会場	大阪倶楽部 4階ホール
曲目	J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲
出演	チェロ / チェロ・ピッコロ：鷺見敏
来場者数	164名
備考	毎年定番で開催している公演。宗教曲の大家として名高いバッハの、器楽曲の魅力を普及させるための公演。東京公演同様に2種の楽器と変則調弦で取り組みました。

日本テレマン協会 第 548 回マンスリーコンサート

My Funny Valentine

日時	2025年2月14日 18:00
会場	大阪倶楽部 4階ホール
曲目	L. アンダーソン： フィドル・ファドル プリンク・ブレンク・ブランク ワルツィング・キャット シンコペーティッド・クロック 舞踏会の美女
出演	踊りあかそう、トゥー・ヤング、我が恋はここに 誰かが私を見つめてる、テネシー・ワルツ ラブ・レターズ、フールズ・ラッシュ・イン、枯葉 幸せを売る男、バラ色の人生 思い出のサンフランシスコ あなたはしっかり私のもの マイ・ファニー・バレンタイン 愛の讃歌、あの愛をもう一度 ヴォーカル：原田紀子、永海 孝 ストンプ in TELEMANN pf: 堀智彦 /cb: 中山良一 /dr: 山下嘉範 テレマン・アンサンブル MC：今井由美 監修：延原武春
来場者数 備考	159名 毎年恒例で開催しているスタンダード JAZZ の公演。 ロビーにいてワインとチョコレートのサービスを行いました。

日本テレマン協会 第 549 回マンスリーコンサート

高田泰治リサイタル

～J.S. バッハと J.K.F. フィッシャー～

ドイツ盛期バロックの鍵盤音楽

日時	2025年3月18日 18:00
会場	大阪倶楽部 4階ホール
曲目	J.K.F. フィッシャー： 「音楽のパルナツソス山」組曲第1番ハ長調「クリオ」 J.S. バッハ：パルティータ 第2番 BWV826 J.K.F. フィッシャー： 「音楽のパルナツソス山」組曲第9番ニ短調「ウラニエ」 J.S. バッハ：イギリス組曲 第2番 BWV807
出演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	127名
備考	古典鍵盤奏者高田泰治によるリサイタル。バッハ に影響を与えた作曲家フィッシャーとバッハの作 品を対比させたプログラムとなりました。



教会音楽シリーズ Church Concert

日本テレマン協会 第 199 回教会音楽シリーズ

G.F. ヘンデル 「メサイア HWV56」

日時	2025年11月17日 17:00
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	G.F. ヘンデル：オラトリオ「メサイア」HWV56
出演	指揮：延原武春 ソプラノ：渡辺有香(1部)、中村朋子(3部) アルト：渡邊由美子 テノール：新井俊稀 バス：林康宏 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ
来場者数 備考	296名 ヘンデルのメサイアは近年「Sing in メサイア」 としては取り上げていましたが、通常の公演とし て取り上げるのはかなり久しぶりとなりました。

日本テレマン協会 第 200 回教会音楽シリーズ

J.S. バッハ 「クリスマス・オラトリオ」

日時	2025年12月25日 18:00
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	J.S. バッハ：クリスマスオラトリオ第一部～第三部 A. ブルックナー：アヴェ・マリア W.A. モーツァルト：ラウダーテ・ドミニム W.A. モーツァルト：アヴェヴェルム・コルプス 「まきびとひつじを」「もろびとこぞりて」
出演	指揮：延原武春 ソプラノ：中村朋子 アルト：渡邊由美子 テノール：鹿岡晃紀 バス：篠部信宏 テレマン室内合唱団 テレマン室内オーケストラ
来場者数 備考	261名 第200回記念にふさわしく、大変多くの方にご 来場頂きました。合唱団としては新しい演目であ るブルックナーの作品も取り上げ、非常に充実し た公演となりました。

特別公演 Special Concert

日本テレマン協会特別公演

～ワインと楽しむ～新神戸イースト サロンコンサート

日時	2025年4月17日 18:30
会場	Salon de メランテ
曲目	G.F. ヘンデル：オラトリオ「メサイア」HWV56
出演	ヴァイオリン：U. ブンディース チェロ：鷺見敏 フォルテピアノ：高田泰治
来場者数 備考	35名 ワインと共に本格的な古典派室内楽をお楽しみ頂 きました。



依頼公演

自治体、企業、団体、ホールなどからの依頼公演を72公演開催し、18世紀音楽の普及に努めるとともに、都心部から離れた会場での公演では、地域のサロンづくりに貢献することが出来ました。単年度ではなく、継続的にご依頼いただいている公演は「第九 de クリスマス

(大阪市/ザ・シンフォニーホール)」、「バロックコンサート (池田市/池田市民文化会館)」、「テレマンのバロックの宴 (伊丹市/旧岡田家住宅・酒蔵)」、「テレマンコンサート in 中崎公会堂 (明石市/中崎公会堂)」などとなっております。令和4年度より人気企画となっております

「食事付きの公演企画「アフター・ランチ・コンサート」シリーズは主催として旅行社・新聞社8社、8会場との協働で開催し、公演数は24公演となりました。



依頼公演の分布 (月別)

依頼公演	(主催公演)
4月 13公演	(2公演)
5月 9公演	(2公演)
6月 3公演	(0公演)
7月 3公演	(2公演)
8月 3公演	(1公演)
9月 6公演	(1公演)
10月 8公演	(2公演)
11月 6公演	(4公演)
12月 9公演	(3公演)
(2021年)	
1月 2公演	(3公演)
2月 8公演	(1公演)
3月 5公演	(1公演)
合計 72公演	(22公演)

依頼公演の分布 (地域別)

北海道	石川県	岡山県	1公演
青森県	福井県	広島県	
岩手県	山梨県	山口県	
宮城県	長野県	徳島県	
秋田県	岐阜県	香川県	
山形県	静岡県	愛媛県	
福島県	愛知県	高知県	
茨城県	三重県	福岡県	
栃木県	滋賀県	佐賀県	
群馬県	京都府	長崎県	
埼玉県	大阪府	熊本県	
千葉県	兵庫県	大分県	
東京都	奈良県	宮崎県	
神奈川県	和歌山県	鹿児島県	
新潟県	鳥取県	沖縄県	
富山県	島根県	その他	

社会的活動

チャリティー協力

チャリティー協力として、カトリック夙川教会のバザーでの演奏会及び NPO 法人 視覚障害者支援の会 クローバーの「クローバー 30 周年記念コンサート」に出演しました。両公演ともバロックから古典派を中心に、ロマン派の作品も交えつつ誰もが知る名曲を本格的な演奏でお届けしました。

NPO 法人 視覚障害者支援の会 クローバーは 1995 年の阪神淡路大震災直後の視覚障害者の外出介助のボランティア活動がきっかけで出来た団体で、上記公演では通常の演奏の他に視覚障害者の方に楽器に触れて頂く時間を設けました。特にチェロやコントラバスといった大型楽器は触れる機会が少なく、「どんな楽器なのかイメージが出来ない」という方もあり、良い機会となりました。

クローバー 30 周年記念コンサート

日時	2025 年 2 月 9 日 (日)
会場	大阪市中央公会堂中集会室
曲目	G.Ph. テレマン：シンフォニア J.S. バッハ：G 線上のアリア J. パッヘルベル：カノン A. ヴィヴァルディ：「春」 W.A. モーツァルト： アイネ・クライネ・ナハトムジーク J. マスネ：タイスの瞑想曲 L. アンダーソン： プリンク・ブランク・プレנק 舞踏会の美女
出演	指揮：延原武春 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ

カトリック夙川教会バザー チャリティーコンサート

日時	2024 年 5 月 19 日 (日)
会場	カトリック夙川教会聖堂
曲目	G.Ph. テレマン：シンフォニア チェンバロ・コーナー J.S. バッハ：管弦楽組曲 第 3 番より Ouverture - Aria - Gigue G.F. ヘンデル：リジョイス G.F. ヘンデル：オンブラ・マイ・フ F. クライスラー： 愛のよろこび・愛のかなしみ W.A. モーツァルト： アイネ・クライネ・ナハトムジーク
出演	ヴァイオリン：浅井咲乃 ソプラノ：中村朋子 テレマン・アンサンブル



再生紙の使用

マンスリーコンサート (年間 8 公演) のチラシ (A4 サイズ) 及びプログラム (B4 サイズ)、定期演奏会 (年間 8 公演) のプログラム (A3 サイズ) には、環境に配慮し、100% リサイクルの再生ケント紙である「クラークケント」を使用致しました。

親子公演の実施

クラシック音楽ファン層の次世代・次々世代育成のために親子で楽しめるファミリーコンサートを実施しました。お子様にも親しみやすい演目を中心に、大人も楽しめる企画となりました。

25 歳以下 1000 円券

若い世代のクラシック音楽離れが顕著になっている中、18 世紀音楽のすばらしさを気軽に味わっていただき、文化振興の一助になればという思いから、主催公演では 25 歳以下の方向けに 1000 円券の販売を実施しました。

年表

1960s

1963

延原武春を中心にテレマンアンサンブル発足。
(現：テレマン室内オーケストラ)

1965

定期演奏会スタート。

1966

大阪文化祭賞 (以後 72 と 82)

1968

マンスリーコンサートスタート (会場は津村別院)

1969

テレマン室内合唱団が発足し、室内楽における総合団体
「大阪テレマン協会」となる。

1970s

1970

音楽クリティッククラブ賞 (以後 75 と 76)

1975

大阪府民劇場賞 (以後 85)

1977

文化庁芸術祭優秀賞 (関西より初受賞)
ビクターレコード制作「テレマン協会シリーズ」発売開始。

1980s

1981

G.Ph. テレマン生誕 300 年を記念し、コンサート
(文化庁芸術祭主催)、出版、レコードを発売。

1982

定期演奏会にて L.v. ベートーヴェン交響曲第 9 番「合唱付」
を合唱団・オーケストラ合わせて 100 人で演奏(100 人の第九)。
テレマン室内管弦楽団がドイツへ演奏旅行。テレマンの生地
マクテブルクでの公演実現。

1984

マンスリーコンサートの会場が大阪倶楽部になる。

1985

テレマン室内合唱団・同管弦楽団総勢 70 名、東ドイツ
へ演奏旅行。(“バッハ生誕 300 年記念国際音楽祭” に出演)
サントリー音楽賞 (関西より初受賞)

1987

「ベルリン市制 750 年記念音楽祭」に参加。また、ロンドン
デビュー公演を実現。
「ソウル国際音楽祭」参加。日本の室内楽団では初の韓国公演。

1989

テレマン室内合唱団が創立 20 周年を迎え、教会音楽シリーズ
も 100 回記念演奏会を行う。
フランス革命 200 年を記念し、パリ、ボルドー、ヴァルドアール
各都市で公演を行う。

1990s

1991

バロック楽器の団体「コレギウム・ムジクム・テレマン」が
発足。サイモン・スタンデイジや中野振一郎主導のもとで、
様々な試みに着手。海外公演や CD 収録の他、数多くの本邦
初演・世界初演を行う。
G.F. ヘンデル「メサイア」の異なった 9 種の版を連続的に
公演。(～ 01)

1993

季刊誌「ゲオルク」創刊 (～ 03)

1995

G.F. ヘンデルの権威・故渡部恵一郎氏の監修のもと、ヘンデル
作曲の本邦初演のオラトリオをジェスチャー付きで連続
公演。(～ 01)

1999

中野振一郎&コレギウム・ムジクム・テレマンによるドイツ
演奏旅行。

2000s

2000

ヘンデルのオラトリオ公演にて、上方講師・旭堂南左衛門
が共演。
琵琶湖水質浄化の紙の使用開始。演奏会を通じた環境改善活
動に着手。
小説「延原武春」(作：中野順哉)が東方出版より出版。
【CD】「J.S. バッハ：チェンバロ協奏曲集」

2002

御当地の歴史を取材した創作講談とのコラボレーション
「音楽絵巻」がスタート。
高田泰治がチェンバロ、フォルテピアノ、ピアノを弾き分
ける協奏曲の夕べに出演し、ソリストデビュー。
【CD】「ラ・フォリア」
【CD】「バッハ以降のチェンバロ協奏曲集」

2003

中野振一郎率いるコレギウム・ムジクム・テレマンがドイツ
へ演奏旅行。「バッハ・フェスティバル in ライプツィヒ
2003」に出演し、C.P.E. バッハ作曲「チェンバロ協奏曲」

の復元後、世界初演を行う。
【CD】「オーボエ協奏曲・バロック名曲集」

2004
【CD】「星に願いを」

2007
ハイドン作曲オラトリオ「四季」の公演が大阪文化祭グラ
ンプリ受賞。

2008
協会創立 45 周年を記念して、延原指揮によるベートーヴェ
ン交響曲全曲及び合唱幻想曲、荘厳ミサ曲連続公演を開催。
ベートーヴェンの指示したテンポとクラシカル楽器の使用に
よるこの公演は高く評価されCDに。
【CD】「テレマン作品集② 7つのトリオ・ソナタ」

2009
【CD】「ベートーヴェン・チクルス」リリース。(～11)
延原、ドイツ連邦共和国より功労勲章を受章。
延原が大阪フィルハーモニー交響楽団を指揮するシリーズ
(ベートーヴェン交響曲全曲)が始まる。
「テレマン室内管弦楽団」改め「テレマン室内オーケストラ」
に改称。

2010s

2010
延原、日本フィルハーモニー交響楽団の横浜定期演奏会を
指揮。

2011
コレギウム・ムジカム・テレマン解散。
「指揮者・延原で」というコンセプトをもとに、関西在住の
フリーランスの奏者を集めオーケストラ Orchestra Japan
2011 を結成し、マーラー交響曲第 4 番を演奏。
【CD】「ブラームス：交響曲第 1 番」
【CD】「高田泰治チェンバロ・アルバム Vol.1」
ウッラ・ブンディース、首席客演コンサートマスターに就任。

2012
延原、Orchestra Japan 2011 を率いてドヴォルザーク
交響曲「新世界より」を好演。
【CD】「マーラー『亡き児を偲ぶ歌』『交響曲第 4 番』
(レコード芸術) 特薦盤」
【CD】「浅井咲乃：ヴィヴァルディ『ムガール大帝』」
創立 5 0 周年事業「大大阪ターフェルムジーク」を開催。

2013
【CD】「U. ブンディース 高田泰治 J.S. バッハ 6 つのソナタ」
Orchestra Japan 2011 を再結成し、3 月 1 1 日にレクイ
エムを奏で続ける追悼公演を開始。

2014
ブランデンブルク州知事に対し、J.S. バッハ「ブランデンブ
ルク協奏曲」全曲を大阪にて連続公演することを公約しシ
リーズ開始。
大阪市中央公会堂での定期演奏会がスタート。

2015
【CD】「高田泰治 モーツァルト・アルバム」
【CD】「U. ブンディース 高田泰治 モーツァルト
ヴァイオリン・ソナタ」

2016
【CD】「高田泰治 うつろい」、
【CD】「高田泰治 J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲」
高田泰治がシーボルト賞受賞式にてドイツ大統領御前演奏に
出演。
延原武春が音楽監督兼 CEO に就任。

2017
高田泰治が平成 2 8 年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。
【CD】「U. ブンディース 高田泰治 古典派二重奏曲の系譜」
定期演奏会「中之島をウィーンに！」シリーズがスタート。

2018
創立 5 5 周年記念事業「テレマンの街ハンブルクから 中之島
をウィーンに！」を開催。
延原武春指揮テレマン室内オーケストラが、第九アジア初演百
周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。
【CD】「高田泰治ベートーヴェン・アルバム」

2019
浅井咲乃が平成 3 0 年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。
4 月、マンスリーコンサートが 5 0 0 回を迎える。
5 月、P. エスカンデ氏がテレマン室内合唱団指揮者に就任。
11 月、ベスト・プロデュース賞を受賞。
【CD】「ブランデンブルク協奏曲 全曲」
「高田泰治 ショパン&シューマン ピアノ協奏曲集」

2020s

2020
定期演奏会大阪公演で新型コロナウイルス感染症対策も兼ねた
縮小編成のベートーヴェンの交響曲シリーズを実施し、ペー
トーヴェンが貴族の邸宅で実施していた試演会を再現。
ニューオーサカホテル心齋橋にてテレマン作曲「食卓の音楽」
と 18 世紀当時のメニューを再現したディナーとのコラボレー
ション企画「18 世紀貴族の晩餐会」を実施。
【CD】「延原武春 心のオーボエ Vol.2 アヴェ・マリア」

2021
延原武春オーボエ生活 60 周年を記念し、リサイタル 2 公演と
個展を実施。
【CD】「延原武春×小林道夫『無言歌』」
【CD】「テレマン作品集③様々な楽器のための協奏曲」

2022
2015 年より継続しているバッハ作曲「ブランデンブルク協奏
曲」全曲公演が 11 月開催の第 291 回定期演奏会（東京公演）
で通算 10 回目を迎える。

2023
教会音楽シリーズを再開。
協会創立 60 周年記念事業を実施。
NHK BS プレミアム「クラシック倶楽部」に出演。
【CD】高田泰治クープラン一族のクラヴサン音楽集
【CD】バッハ 管弦楽組曲集

2024
延原武春が令和 6 年度地域文化功労者に選出される。
1 2 月、教会音楽シリーズが 2 0 0 回を迎える。

日本テレマン協会 後援会

1980年、故鈴木剛氏（元住友銀行頭取）が中心となり日本テレマン協会の活動を支援するために発足。現在は多くの法人、個人の皆様にご加入いただき、さらなる会員の拡大を目指して積極的な活動を続けています。

役員名簿

2025年7月現在

会 長	尾崎 裕（大阪ガス）	特別顧問	野村明雄（大阪ガス）
副 会 長	角 英幸（住友生命保険） 沖中 進（朝日放送グループホールディングス）	顧 問	齋藤元彦（兵庫県知事） 山下 真（奈良県知事） 久元喜造（神戸市長）
理 事	福田里香（パナソニックホールディングス） 北山 隆（大阪音楽大学名誉教授） 宮島登美子（大阪ユニセフ協会） 小野敏夫（クラシック音楽興隆会） 寺西正司（三菱UFJ銀行） 橘木晴久（関西電力） 井上礼之（ダイキン工業） 中野剛志（三井住友銀行） 小林哲也（近鉄グループホールディングス） 佐野吉彦（安井建築設計事務所） 入谷泰生（新日本海フェリー） 鳥井信吾（サントリーホールディングス） 吉田有宏（千寿製菓） 杉浦 正（共和メディカル） 川崎益彦（桜宮ゴルフクラブ） 大林剛郎（大林組） 松田喜成（ニューオーサカホテルエンタープライズ） 山本啓之（ホテルモントレグループ） 家次 恒（シスメックス）		ジェイソン・リチャード・クーバス（アメリカ総領事） メラニー・ザクシンガー（ドイツ総領事） キャロリン・デービッドソン（イギリス総領事） ジャン＝マチュー・ボネル（フランス総領事） マーク・カウバース（オランダ総領事） テルスキフ・アレクサンダー（ロシア総領事） マルコ・ブレンチベ（イタリア総領事） イエルーン・ヴェルゲイレン（ベルギー大使館公使参事官） ブ・トアン・ハイ（ベトナム総領事） クリット・タンカナラット（タイ総領事） 趙 成烈（駐大阪大韓民国総領事） マーガレット・ボーエン（オーストラリア総領事） 多川俊映（興福寺寺務老院） ロニー・アレキサンダー（神戸大学大学院教授） 千 宗守（武者小路千家家元） 高口恭行（一心寺長老） 小野善康（経済学者） 高木慶子（上智大学グリーンケア研究所） 前田万葉（カトリック 枢機卿）
監 事	稲畑勝太郎（稲畑産業） 陳 英智（三洋実業）		

年表

1980s	1991
1980 5月発足。第1回理事会開催。会長に鈴木剛氏が就任。	故原会長の後を受けて、監事の波多野一雄氏が第3代目の会長に就任。
1982 3月、理事会にて顧問の設置が承認され、11月には顧問が決定。 12月、鈴木剛氏の逝去に伴い、原清氏が第2代目の会長に就任。	1997 7月、大西正文氏が第4代目の会長に就任。
1990s	2000s
1990 10月、原清氏急逝。	2007 7月、野村明雄氏が第5代目の会長に就任。
	2010s
	2016 7月、尾崎裕氏が第6代目の会長に就任。

法人会員

2025年7月現在

株式会社IHI 関西支社	株式会社産業経済新聞社	株式会社博報堂関西支社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	三幸メリヤス株式会社	パナソニックホールディングス株式会社
愛知時計電機株式会社大阪支店	サントリーホールディングス株式会社	阪急電鉄株式会社
株式会社アイツーエム	JFEエンジニアリング株式会社	非破壊検査株式会社
朝日放送テレビ株式会社	JFEスチール株式会社	フルライン株式会社
稲畑産業株式会社	シスメックス株式会社	ホテルモントレグループ
今津建設株式会社	株式会社芝川本店	株式会社三井住友銀行
江崎グリコ株式会社	株式会社新川製作所	株式会社三菱UFJ銀行
大阪衛生株式会社	新コスモス電機株式会社	都築業株式会社
大阪ガス株式会社	新日本海フェリー株式会社	矢崎エナジーシステム株式会社 大阪支店
大阪ガス株式会社 東京支社	シンプルライフ21	株式会社安井建築設計事務所
大阪シティ信用金庫	住友生命保険相互会社	読売新聞大阪本社
株式会社大林組 大阪本店	千寿製薬株式会社	讀賣テレビ放送株式会社
関西テレビ放送株式会社	損害保険ジャパン株式会社	学校法人LABO-K学園
関西電力株式会社	ダイキン工業株式会社	株式会社りそな銀行
株式会社カンダ	株式会社大丸松坂屋百貨店	株式会社ロイヤルホテル
共和メディカル株式会社	大和ハウス工業株式会社	ロックペイント株式会社
近鉄グループホールディングス株式会社	株式会社竹中工務店	株式会社ワキタ
株式会社きんでん	帝国ホテル大阪	匿名3社
株式会社クボタ	株式会社電通 関西支社	
株式会社公益社	株式会社トーケンリースサービス	
鴻池運輸株式会社	東邦ガス株式会社	
有限会社神戸楽譜	中井エンジニアリング株式会社	
株式会社公洋	名古屋 宗次ホール	
株式会社コジマ	南海電気鉄道株式会社	
コーナン建設株式会社	西日本旅客鉄道株式会社	
西部ガス株式会社	日鉄P&E株式会社	
桜宮ゴルフクラブ株式会社	日本生命保険相互会社	
サラヤ株式会社	株式会社ニューオーサカホテルエンタープライズ	

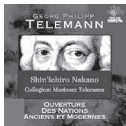
個人会員

2025年7月現在

浅井 浩	大西 國忠	北浦 告三	重森 哲二	園崎 明夫	中西 守	宮本 敏子
安積 博子	大西 淑子	楠雄 一郎	鳶田 潤作	高田 満國	萩原 登志子	山口 敦子
天野 和生	岡村 敬二	久住 祐治	清水 淳彦	田中 佐代	萩原 直大	山中 修治
池田 英美代	岡本 好平	黒田 千之	杉 浦 正	田村 百合子	廣川 信一	由良 恂一
泉 さおり	小川 寛	高 仁 宝	杉本 千世子	津越 悦郎	福居 誠二	吉田 好道
伊藤 康夫	梶原 健司	小作 英男	直田 春夫	辻本 泰規	藤本 英子	米 沢 康
今井 由美	加藤 光司	小林 誠	角南 忠昭	土井 英一	松浦 靖	和田 誠一郎
上山 剛	加藤 卓哉	小谷 公穂	鷺見 和彦	土井 周子	松田 喜成	匿名9名
内田 友樹	川岸 弘賢	酒井 俊幸	鷺見 博子	東條 良賢	三木 依子	
延 秀 恵	菊 枝 英興	佐藤 晴彦	鷺見 良彦	仲窪 菜穂子	三宅 成典	

〈敬称略・順不同〉

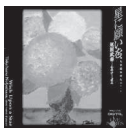
Discography



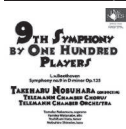
●テレマン作品集1
WWCC-7406



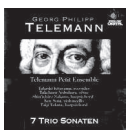
●バロック・オーボエ
協奏曲名曲集
WWCC-7432



●心のオーボエ
WWCC-7478



●100人の第九
WWCC-7543



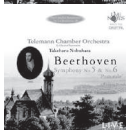
●テレマン作品集2
WWCC-7567



●ベートーヴェン
交響曲第1番, 第2番
WWCC-7610



●ベートーヴェン
交響曲第3番「英雄」,
交響曲第4番
WWCC-7622



●ベートーヴェン
交響曲第5番「運命」
交響曲第6番「田園」
WWCC-7629



●ベートーヴェン
交響曲第7番,
交響曲第8番
WWCC-7639



●ベートーヴェン
交響曲第9番「合唱付」
WWCC-7658



●ベートーヴェン
「合唱幻想曲」&
「ミサ曲ハ長調」
WWCC-7667



●高田泰治
チェンバロ・アルバム vol.1
WWCC-7684



●マーラー
亡き子を偲ぶ歌
交響曲第4番ト長調
WWCC-7695-6 (2枚組)



●ヴィヴァルディ
ヴァイオリン協奏曲
「ムガール大帝」「四季」
WWCC-7706



●バッハ 6つのソナタ
WWCC-7715-6 (2枚組)



●浅井咲乃の
「よろこび」と「かなしみ」
WWCC-7758



●ブラームス
ドイツ・レクイエム
WWCC-7778



●モーツァルト
ヴァイオリン・ソナタ
WWCC-7783



●モーツァルト・アルバム
WWCC-7788



●うつろい
WWCC-7802



●J.S. バッハ
ゴルトベルク変奏曲
WWCC-7823



●古典派二重奏曲の系譜
WWCC-7832



●高田泰治
ベートーヴェン・アルバム
WWCC-7876



●ブランデンブルク協奏曲全曲
WWCC-7901 ~ 2



●高田泰治
ショパン&シューマン
ピアノ協奏曲集
WWCC-7906



●アヴェ・マリア
延原武春
心のオーボエ Vol.2
WWCC-7928



●延原武春×小林道夫
「無言歌」
WWCC-7952



●テレマン作品集3
WWCC-7957



●高田泰治
クープラナー族の
クラヴサン音楽集
WWCC-7984



●バッハ 管弦楽組曲集
WWCC-7986



●“Telemann”のテレマン
WWCC-8005

2024 年度版 一般社団法人日本テレマン協会 活動報告書

発行 一般社団法人日本テレマン協会

〒 530-0002

大阪市北区曽根崎新地 2 丁目 1-17

TEL06-6345-1046

FAX06-6345-1045

tij@cafe-telemann.com

<http://www.cafe-telemann.com/>

